

最優秀賞

神奈川県社会福祉協議会長賞

前とちがうくらし

厚木市立北小学校

五年 小泉結愛

おじいちゃんが去年の一月に突然倒れ、脳梗塞と言われた。救急車で病院に行つたのがすごく悲しくて、パニックになつたのをすごく覚えている。

毎日会っていたおじいちゃんが、入院をして会えない日が続いた。

リハビリの病院に行き、リハビリをがんばつていたおじいちゃん。それからリモートで面会をした時、久しぶりに顔を見て少し安心した。あまり笑顔はみられなかつたけど、心が笑顔になつた。

その年の六月、おじいちゃんが退院した。元気だつた時より年老いていたけれど、笑顔はかわりなかつた。きんちょうしたけどれしかつた。おじいちゃんも家に帰ってきてうれし

かつたのか、笑顔が見えた。

いつもおばあちゃんが、「起こすのが大変。」と言っている。私はその言葉を聞いて助けるようになつた。

ある日私がるす番をしていたら、ドンッとげんかんから音がした。私が見に行つたらおじいちゃんがしりもちをついて転んでいた。おばあちゃんと一緒に持ちあげた。その時胸がドキドキした。おばあちゃんに「ありがとう」と言われ、力になれた事がうれしかつた。

私の父は介護福祉士の資格をもつてている。たくさん勉強をして社会福祉士の資格も取つた。今の会社につとめて二十五年、介護の仕事をしているのはすごいなと思う。

おじいちゃんに何かあつた時、パニックにならずにしんけんな顔をして助けている。私はそんな父をそんかいしている。だれかを助けている人はキラキラして見える。

私もそんな人になりたい。

これからもおじいちゃんを笑顔にして助けてあげたい。
長生きしてほしいからだ。